

資料の概要

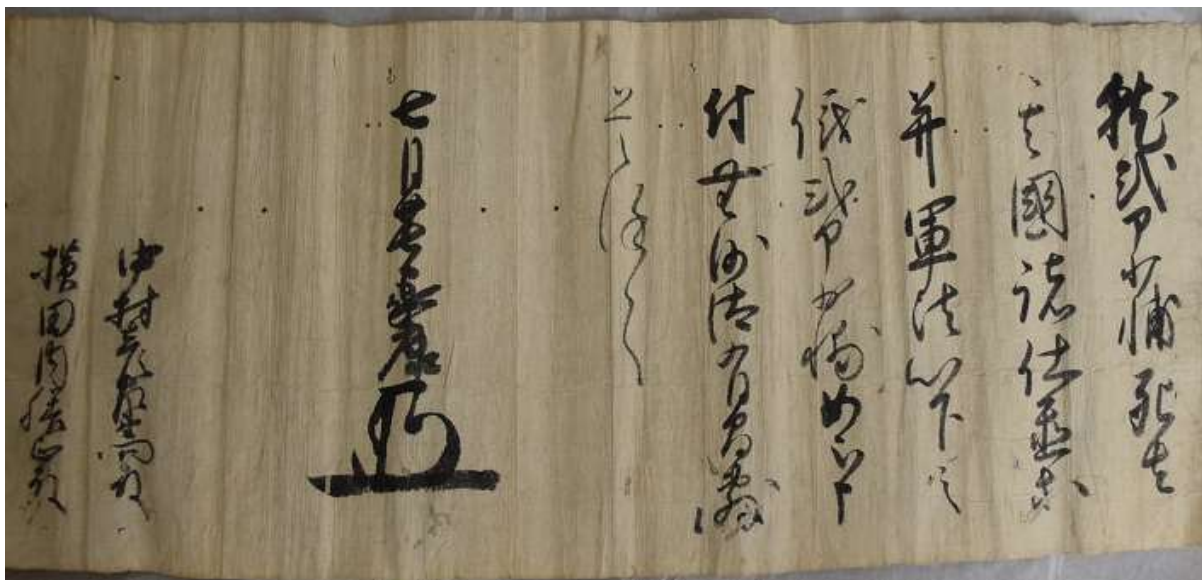
【概要】

資料名	徳川家康書状
差出	徳川家康
宛先	中村彦左衛門 横田内膳正
年代	(慶長五年(1600)) 七月二十七日付
規格	縦 18.4 cm×横 44 cm
付属品	木箱

【関ヶ原合戦までの流れ(1600年)】

日付	出来事
6/16	家康、上杉討伐へ向け出陣
7/11	石田三成、挙兵
7月中旬	中村一氏、死去
	家康、三成の挙兵をきく
7/25	小山評定、徳川方が引き返す
7/27	家康、中村家宛てに書状を送る
	この頃各地の大名に書状を送る
9/1	家康、江戸を出陣
9/15	関ヶ原合戦

【資料画像】



【資料内容】

【翻刻】

就式部少輔死去、

其国諸仕置等

并軍法以下之

儀、式部少輔如被申

付、無沙汰有間敷候、

恐々謹言、

七月廿七日 家康(花押)

中村彦左衛門尉殿(※1)

横田内膳正殿(※2)

【読み下し】

式部少輔死去に就き、其の国諸仕置等ならびに

軍法以下の儀、式部少輔の申し付けらる如く、

無沙汰有るまじく候。恐々謹言。

【現代語訳】

式部少輔(中村一氏)が死去したことについて(書状を送ります)。その国(駿河)の支配や軍団の統制などを、一氏が申し付けられたように、疎かにしないよう(してください)。

※1…中村一氏の弟、中村氏次 ※2…中村一氏妹の婿、横田村詮
一氏の息子(中村忠一)は、幼少であったため、一氏の弟と筆頭家老にあてた。